



前期シーズンも終わり、後期が始まりますが、6月も試合の合間にホームタウン越知町で多くの皆さんと触れあう機会を持つことができました。後期も優勝目指して頑張りますので、これまで以上のご声援よろしくお願いたします。

活動紹介

【越知小学校体育支援】



5月末から6月上旬にかけて、子どもたちの体力低下に歯止めをかけるべく、越知小学校の全学年の児童を対象とした体育の授業を西川が担当しました。小学生の時期は『ゴールデンエイジ』と呼ばれ、人生の中で最も動作を習得するのに適した時期であると言われており、鬼ごっこやボール遊びなどを通じて、さまざまな身のこなし方を学習しました。

【越知小学校5年生田植え】

6月5日、越知小学校5年生の皆さんと練習生4人で田植えを行いました。



地域の方々の丁寧なご指導のおかげで、子どもたちはとても楽しそうに初めての田植えを行っていました。選手たちは、自分たちで植えた稲からできたお米を食すことができ、季節が待ち遠しくて仕方ない様子でした。秋の収穫の際にも、また参加させていただきます。

【ドッグス田植え】

今年もドッグス田の田植えのシーズンがやってきました。昨年と同じく、幼稚園と保育園の園児の皆さんのかわいいサポートを得て、6月17日に楽しい田植えタイムを過ごしました。



チームはリーグ戦の終盤で、連戦の合間の田植えとなりましたが、良いリフレッシュの機会となり、残りの試合に向けて、気分を一新することができました。順調に成長すれば、再び園児の皆さんと10月頃収穫を行う予定です。

【ドッグス畑小麦収穫】

丸山のグラウンド脇のドッグス畑に昨年12月に小麦の種を播きましたが、順調に成長し、5月下旬には、たわわに実をつけました。梅雨が本格化する前に、練習生6人が収穫を行いました。



今回の栽培には、高知大学農学部にて技術指導を受けていることから、同学部の学生さ

んたちも刈り取りを手伝ってくれました。収穫した小麦はその後、乾燥、脱穀、製粉を行い、小麦粉として、球団のイベントなどで活用しようと思えます。

【青少年育成町民会議総会】

5月31日に、スタッフの久保田が、「今の子どもたち、これからの子どもたち」というテーマで、皆さんにお話する機会をいただきました。大学時代に球団ボランティアとして活動を始め、現在は職員として夢を追う選手とさまざまな活動を行っている久保田の経験を通じて、今の子どもたちについて感じたことを述べさせていただきました。プロ野球チームに携わる者からの一つの視点として、ご参考になれば幸いです。

